

山口県西北部海岸
土井ヶ浜遺跡

この地に、
未来をかけた。

300体を超える弥生人の人骨が出土した山口県西北部海岸の土井ヶ浜遺跡（下関市）。ここから出土した弥生人の人骨は、日本人の起源、または縄文人との形質変化を考えるうえで重要な資料を提供する国の指定史跡です。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム（<http://www.doigahama.jp>）はわが国で唯一の人類学専門の博物館で、日本人のルーツの情報を展示・発信しています。

ここの遺体は全て顔を西のほう、つまり海の方に向けて葬られています。この事から、ここの住民達の故郷は山口県北部から海を越えたところ、即ち朝鮮半島、もしくは中国大陸ではないかと考えられます。

本授業では、遺跡から出土した人骨から日本人のルーツを検証し、あわせて未来を推測してみます。

人骨から日本人のルーツを探る

- 期 日 平成21年 2月14日（土）・15日（日）
- 会 場 放送大学山口学習センター
- 講 師 松下 孝幸（土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長）
- 定 員 定員 60名（放送大学生 50名、一般共修生 10名）
- 申 込 放送大学生は科目登録により申請して下さい。
一般の方は共修生として受け付けますので、山口学習センターにお問い合わせ下さい。
- 受講料 5,500円（2日間）
- 後 援 下関市教育委員会
- お問い合わせ先



公開授業
受講者募集

この授業は、放送大学の授業（定員五十名）を
学外にも公開して行うものです。